

令和6年度 江戸川区立江戸川小学校 人権教育 年間指導計画（第4学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権教育の目標を踏まえて学級目標を設定する。		自分の大切さを認識することを中心とした指導			他の人の大切さを認めることを中心とした指導			互いの大切さを認め、助け合えることを中心とした指導			
	児童相互の関係を把握する。		児童理解を、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。			一人一人の個性や能力が発揮できる場や機会を設定することにより、学級の一員として認められているという安心感をもてるようにする。			1年間の学校生活を振り返らせ、自己の成長を確かめる。			
各教科・読書科	国語：「はるのうた・あり」命の目覚め、尊さに気付く。	国語：「花を見つける手がかり」モンシロチョウや花など、どの生き物にも命があることに気付く。	国語：「リーフレットでまようこ」リーフレットの良さを知り、相手に伝える力を養う。		国語：「みんなが楽しめる新スポーツ」高齢者、足の不自由な人など、様々な人にとって楽しめるスポーツを考える。また差別や偏見についても知る。「高齢者」または「障害者」		国語：「ウミガメの命をつなぐ」ウミガメの学習を通して、命の尊さについて理解する。		国語：「手話であいさつをしよう」「便利」をさがそう」耳の聞こえない人への差別や偏見について知るとともに、そうした人にとっても暮らしやすくなる工夫を考える。「障害者」			
	図工：「人権ポスター」人権に関するテーマをもとに、絵と言葉を考えてポスターに表現する。	体育：「リレー」ルールを守り、協力しながら運動する経験を通して、公平・協力の態度を身につける。	社会：「ごみの処理と再利用」地域で働く人や暮らしをささげる人たちの学習を通して、多くの人に支えられて、生活していることを理解させる。また、清掃員の方への偏見などを考える。		社会：「水害（地震）からくらしを守る」被災を受けた地域の人たちがうけた差別に触れるとともに、くらしを守る方法について知る。「災害を伴う人権問題」				社会：「世界とつながる大田区」大田区の政策を知るとともに、日本に暮らす外国人が暮らしの中でこまごまを知り、どうするか話し合う。「外国人」			
	理科：「季節と生物（春の始まり・春・夏・夏の終わり・秋・冬・春のおとずれ）」動植物の1年の過ごし方を知り、ツルレイシの栽培など生命尊重を実施する。											
特別の教科 道徳	「特別の教科 道徳」を通して、自由・責任、親切・思いやり、友情・信頼、感謝、生命の尊さ、公正・公平、社会正義、家族愛、勤労、国際理解などを身につけさせる。											
	「あそびにくい？」：登場人物がした問題点と、このあとどうすればよいのかについて話し合うことをとおして、言葉・あそびの大切さに気づき、インターネットにおける差別について考える。「インターネットによる人権侵害」				「人によって態度を変えるのはなぜ？」：学習したことを踏まえて、バリアフリーの設備やサポートの例を知り、自分の身のまわりでは、さまざまな立場の人とも公平に安心して生活できるような工夫がされていることに興味をもたせる。「障害者」				「プロレスごっこ」：いじめに対する他者の考え方にふれ、いじめを解決するためにどうすればよいのかについて、多面的・多角的に考える。「子ども」			
総合的な学習の時間	児童が発言や体験できる場、交流する活動をたくさん作り、個性の伸長やたくさんの人と親しむ時間をつくる。											
	みんなが幸せにくらすために：学校をはじめ地域で様々な人が住んでいて、みんなが過ごしやすい、住みやすい工夫がされていることに気付かせる。また、「子ども」「高齢者」「外国人」「障害者」など様々な立場の人が住み、差別を受けているのがあることに気付くという解決方法があるか探求する。「子ども」「高齢者」「外国人」「障害者」											
特別活動	学活：学級や自分の目標を考える。 1年生を迎える会	学活：楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任などについて考え、信頼し支え合って実践させる。			学活：話し合い活動を通して、一人一人の意見や考えを尊重し合う態度を身に付けさせる。		えどフェス（音楽会）	学活：楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任などについて考え、信頼し支え合って実践させる。				
	「なかよし班」異学年交流を深め、相手の立場に立って思いやる態度を身に付ける。○なかよし班遊び ○えどスポ（運動会） ○CBC（キャッチボールクラシック） ○お粥財給食											
その他	地域訪問：家庭との連絡を密にし、児童一人一人の実態を把握する。		個人面談等：家庭との連絡を密にし、児童一人一人の実態を把握する。			ふれあい月間						
	いじめ防止週間	あいさつ運動（通年）：あいさつを通して、温かい人間関係を養う。				いじめ防止週間						

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ↔＝関連的な指導 ＝多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。